



## 今月のトピックス

### 地域の歴史に親しむ講座

#### 『津島御師・氷室家住宅の謎に迫る』

- 日時 3月17日（土）  
午後2時～3時30分（1時30分より受付）
- 講師 石田泰弘氏（愛西市佐織公民館館長）
- 場所 津島図書館 2F大集会室 / 事前申し込み不要・無料



氷室作太夫家はかつて津島神社の神職（津島御師）として各地の信徒を束ねてきました。氷室家の屋敷「氷室家住宅」は津島市の指定文化財になっており、当時の面影をひっそりと残しています。この住宅内部は御師時代の特徴が遺されているといわれています。今回、氷室家住宅に関する様々な資料をもとに住宅の変遷や歴史的な意味についてご紹介します。

### 図書館企画展示『新獲！郷土資料展』

- 日時 3月6日（火）より
- 場所 図書館入口の展示コーナー

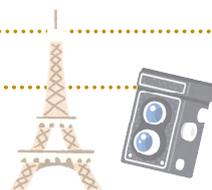


図書館では地域の歴史・情報がわかる資料を多数受け入れています。近年は地域の方々からも珍しい資料・貴重な資料を多く寄贈いただき、地域を知る上で大きな財産になっています。

今回の展示では、ここ1年間に図書館が受け入れた主な郷土資料をご紹介します。



### 19日は「カメラ発明記念日」



今から180年近く前の1839年、フランスのルイ・マンデ・ダゲールが実用的な写真機を発明しました。カメラは現在、誰でも手軽に360度撮影できるカメラやドローンを使った撮影など、日々技術は進化しています。今回はそんなカメラと写真に関する本をご紹介します。

#### ●『フィルムカメラのはじめかた』

上田晃司・河野鉄平・種清豊・ナイスク/著 技術評論社 742.5フ

#### ●『家族を撮る。』 藤本陽子/著 マイルスタッフ インプレス 746フ

#### ●『レンズが撮らえた幕末維新の日本』 高橋則英/監修 山川出版社 210.5レ

## 新 着 図 書

『名鉄バス』 B Jエディタース 星雲社 537.9メ



津島市民の生活に欠かせない公共バス。バスは電車に比べ路線が多くあり、地域に根差した乗り物です。この本は名鉄バスについて余すことなく書いた内容となっています。

車両は現在 700 台以上所有しており、車種、配置されている営業所、高速・貸切等の用途まで、全車種の一覧が詳細に分かります。他にも明治時代から現在まで、事業と発展についての歴史が解説されており、その中で市内のコミュニティバス「ふれあいバス」についても紹介されています。さらに、バスを最大限に活用した名古屋ー岡崎間を満喫する旅など、バスの魅力がぎっしりと詰まっています。

## ベストリーダー

### 先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『皇帝と拳銃と』 倉知淳/著 ←全四編からなるミステリー。警部の鋭い推理が完璧な犯行を次々と見破る。
- 『九十歳。何がめでたい』 佐藤愛子/著 ←新聞・テレビのCM等でも再び注目されロングセラーのエッセイ。
- 『Androidスマホ“便利&快適”活用術』 ←より快適なスマホライフを求めて自分でカスタマイズ。
- 『ニッポン全国和菓子の食べある記』 畑主税/著 ←和菓子を愛する著者が自らのブログをもとに書籍化。
- 『武士マチムラ』 今野敏/著 ←沖縄の空手家、松茂良興作。四百年以上続く琉球王国を舞台に物語は始まる。
- 『すくすくスケッチ』 杉浦さやか/著 ←イラストレーターである著者。娘の子育てを日々のイラストで綴る。
- 『お金持ちが肝に銘じているちょっとした習慣』 菅原圭/著 ←お金を大事にする人は身近なことに気を遣う。
- 『愛知あるある』 立花千春/著・黒茶鯖虎/画 ←個性の強い愛知県民。県民なら共感できるネタが満載の本。
- 『子どもの語彙力を伸ばすのは、親の務めです。』 齋藤孝/著 ←語彙力を磨くことが子どもの成長に役立つ。
- 『注文をまちがえる料理店』 小国士朗/著 ←認知症をかかえる人がオープンした二日間限定のレストラン。

## 図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。スマートフォン向け検索画面もでき、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。  
<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/>

休館日

27日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話 (0567) 25-2145

